



2026 9月27日 ⑧ 14:00 開演 (13:30 開場)

今井館 聖書講堂 東京都文京区
本駒込6-11-15

全席自由 一般4000円 / 一般当日4500円 / 学生2000円 (80席限定)

Stilla Maris スティツラ・マリス
浅井愛 (リコーダー) 糸川絵美 (歌) 渋谷美香里 (バロックハープ)

programma
C. Monteverdi Lamento d'Arianna / A. Falconieri La suave melodia
G. de Macque Durezza, e ligature / M. Effrem Fra le rugiade eterne ecc.



南イタリアのシレーナ アドリアーナ・バジレーの足跡



LA SIRENA DI POSILLIPO

sulle orme di Adriana Basile

南イタリアのシレーナ アドリアーナ・バジーレの足跡



1500年代後半にナポリ近郊のポジリッポという海辺の街に生まれたアドリアーナ・バジーレは、ハープやスパニッシュ・ギターを弾きながら歌い、その比類なき美声と高い芸術性から「ポジリッポのセイレーン」と讃えられました。その噂を聞いた、芸術の熱烈な守護者であったマントヴァ公ヴィンチェンツォ・ゴンザーガの度重なる招聘に応じ、1610年、アドリアーナは夫ムツィオ・パローニと共にナポリを後にしました。

今回のStilla Maris(スティッラ・マリス)のプログラムは、このアドリアーナ・バジーレの足跡を追い、ナポリからローマ、フィレンツェ、そして北イタリア・マントヴァに至る「音楽の旅路」を辿っていきます。ルネサンスからバロック時代への移行期のイタリアの音楽をお楽しみください。

プログラム

モンテヴェルディ アリアンナの嘆き／ファルコニエーリ 甘美なメロディ／デ・マック ドウレッツェ・エ・リガトゥーレ／エフレム 永遠の露の中に など

スティッラ・マリス Stilla Maris

浅井愛(リコーダー) 糸川絵美(歌) 渋川美香里(バロックハープ)

ルネサンスからバロック期のイタリア音楽の装飾をテーマにしたプログラム「幾たび別れても」の演奏会を機に2020年に結成。2022年にヴィオラ・ダ・ガンバの折口未桜氏をゲストに、さらに2023年にテオルボの佐藤亜希子氏も加えて北とびあ国際音楽祭に出演。2025年にはバロックチェロの懸田貴嗣氏をゲストに迎え、「バロック・ローマの異彩」と題した17世紀中期ローマの音楽をテーマとした演奏会を行った。

Stilla Maris(スティッラ・マリス)はラテン語で海のしずくを意味し、イタリア・ミラノで共に学んだ仲間を中心に、無数の音の粒を響かせるべく探求を続けている。



《入場料》全席自由 一般4000円 / 一般当日4500円 / 学生2000円 (80席限定)

《チケットお申込・その他お問い合わせ》

webチケットのご予約は右のQRコードから登録ください

stillamaris2021@gmail.com 070-8444-5657 (スマホ) 090-6002-5176 (アサイ)



2026年9月27日(日)

14:00 開演 (13:30 開場)

今井館聖書講堂

東京都文京区本駒込6-11-15

